

は じ め に

令和6年は、5月から30℃を超える暑い日が多く、6月から8月の平均気温が過去最高を記録しました。子どもたちにとって夏休みは、外で遊んだり、プールへ行ったりすることが楽しみなのですが、35℃以上の猛暑日が続き、屋外で活動することが難しい状況でした。その影響があっただけでなく、「科学作品のテーマ」として、気温の変化や氷の溶け方に関する研究が多かったように思います。科学は、人々の生活を便利にするだけでなく、命を守り、安心して暮らせる社会を支えてくれるものです。科学に興味・関心をもち、研究をしたいと考える子どもたちが増えることで、環境問題や医療、食料問題や宇宙開発など様々な方面で未来は明るくなると思っています。

さて、今年度の岸和田市科学作品展には、岸和田市の小学校・中学校から2251作品の応募があり、校内審査を経て、391作品が出品されました。その中から、特選62作品、入選173作品、佳作58作品が選出され、さらに特選作品の中から科学研究の成果を競う大阪府学生科学賞の応募作品（小学生6点、中学生5点）が選出されました。どの作品も学習への意欲や創意工夫、斬新な発想が感じられるものでありました。これらの科学作品を作成するために試行錯誤を重ねるなかで、自然事象についての知識理解とともに科学的な思考表現や観察実験の技能が、ますます身に付いたことと思います。

本ホームページは、岸和田市小・中学校科学作品展応募の研究物の中から、小学校4年生以上の特選に選ばれた作品の研究内容を集約したものです。今後、より多くの児童・生徒のみなさんの参考になり、自然の見方や科学的な思考力、研究の進め方に役立つことを期待しています。

最後になりましたが、努力した児童・生徒のみなさん、ご指導にあたられた先生方の熱意とご努力に対し、深く敬意を表します。また、科学作品展の実施にあたり、ご協力いただきました理科教育推進委員の先生方、岸和田市小学校教育研究会、岸和田市中学校教育研究会に対し、厚くお礼申し上げます。

令和6年12月

岸和田市教育委員会
学校教育課長 松本 秀規